

# 審査のプロセスに関する話題提供

一般社団法人北海道総合研究調査会（2019年度資金分配団体）  
調査部長 切通堅太郎

1. 自己紹介
2. 「北海道未来社会システム創造事業」概要
3. 審査のプロセスについて
4. まとめ

# 1. 自己紹介

## 一般社団法人北海道総合研究調査会（略称：HIT）

- 1975年09月25日設立
- 常勤役職員数 29名（2021年6月現在）  
(うち、研究員数 13名)
- 札幌に拠点を置く独立型の地域総合シンクタンク
- 「調査部」「情報企画部」「医療介護研究部」からなり、幅広い分野の調査研究活動を行っている
- 休眠預金プロジェクトは主に調査部が担当



【札幌本社】

札幌市中央区北4条西6丁目1番1  
毎日札幌会館 3F

【東京事務所】

東京都港区新橋6丁目20番1号  
ル・グラシエルBLDG. 1 5F

本日のスピーカー：切通堅太郎（調査部長、東京事務所長）

### <プロフィール>

1977年鹿児島県生まれ。2001年北海道大学文学部卒業、2003年北海道総合研究調査会入社。専門は地域福祉（生活困窮者支援）、交通（航空・空港、地域交通）等。

主な著書「航空グローバル化と空港ビジネス」「モビリティと地方創生」「地域を基盤としたソーシャルワーク」（全て共著）

## 2. 「北海道未来社会システム創造事業」概要

資金分配団体  
の役割

広域分散型社会である北海道において、人口減少が進むとともに社会の構造も大きく変わる中、活力ある地域を創り、多様化・複雑化する問題に対応するため、地域内外の資源を活用し、年齢や性別、帰属する組織等を問わず多様な主体が分野をまたいで連携・協働し、地域社会で力を発揮する仕組みづくりを推進する。

目標  
(中長期)

北海道において、子ども・若者、生活困窮者が多様な活動に参加し、携わり、自分の「居場所と役割がある」と感じることができる社会の実現

事業の概要

- ・狙い：休眠預金の原資を最大3年間活用することで、地域の活動団体が継続的に運転資金・投資資金が調達できるような仕組みづくり、基盤づくりを進め、北海道の地域課題解決を目指す取組が活性化されるようになる。
- ・対象となる実行団体：北海道内の活動団体（NPOなど）
- ・総事業費：約8,500万円（助成金額合計）
- ・助成金額の上限ごとにタイプを選択

**タイプⅠ：広域に及ぼす効果が見込まれる取組（1団体あたり上限1,500万円）**

**タイプⅡ：地域密着の取組（1団体あたり上限300万円）**

- ・開始時期：2020（R2）年4月 事業・助成開始

採択団体  
(10団体)

団体名	金額
NPO法人ezorock	14,712,034
NPO法人地域生活支援ネットワークサロン	15,000,000
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会	14,630,598
株式会社ヒトココチ	14,996,000
北海道レインボー・リソースセンター L-Port	6,300,262

団体名	金額
一般社団法人ちくだいKIP	3,000,000
NPO法人かしわのもり	2,220,923
一般社団法人国際交流団体ブロック	3,000,000
NPO法人旭川N P Oサポートセンター	2,210,400
NPO法人飛んでけ車いすの会	2,998,000

※金額は、公募申請時点でのものであり、最終的な提供金額とは異なる。

# 審査のプロセスについて

## 一① 公募・選定のプロセスの概要

項目	内容
公募プロセス	<ul style="list-style-type: none"><li>・公募期間：2019年12月2日（月）～2020年1月15日（水）</li><li>・公募方法：公募説明会を全道6都市（札幌、旭川、函館、帯広、釧路、北見）で開催後、ウェブサイト上で公募要領を公開し、申請を受付。</li></ul>
公募結果	申請団体数：48団体
選定プロセス	<ul style="list-style-type: none"><li>・選定委員会を2回開催し、書類審査（1/28）および面談審査（2/13）による2段階のプロセスにより選定。</li><li>・規程類の整備状況や申請書類の提出状況を一覧化し、申請団体のガバナンス・コンプライアンス体制を確認。</li><li>・選定委員名簿と申請団体から提出された役員名簿を突合し、利益相反防止を図った。</li></ul>
選定結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・選定団体数：10団体</li><li>・助成額 79,068,217円 *金額は申請時点の計画値、評価関連経費を除く。算定根拠は各申請団体の資金計画書による。</li></ul>



### 3. 審査のプロセスについて

#### —② 選定プロセスの検討ステップ

##### 1) 委員の選定（探す→打診）

- ・内閣府地域社会雇用創造事業の経験

##### 2) 選定委員会設置要項の作成

(参考) [http://www.hit-north.or.jp/kmy/wordpress/wp-content/uploads/2020/03/200310\\_03.pdf](http://www.hit-north.or.jp/kmy/wordpress/wp-content/uploads/2020/03/200310_03.pdf)

##### 3) 審査方法の検討・決定

- ・書類審査（第1回）、面談審査（第2回）の開催

##### 4) 選定委員会開催に向けた申請書類の整理

##### 5) 選定委員会開催に向けての準備（いわゆるロジ）

##### 6) 選定委員会

# 3. 審査のプロセスについて

## 一③ 書類審査の方法

### 1) 事務的チェックの実施

- ・必須提出の書類等の欠落がないか確認

### 2) 趣旨と合致しているかの確認

- ・団体一覧に事務局コメント付記

### 3) 第1回選定委員会での議論

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 資料1. 資金分配団体計画書類<br>(事業計画、評価計画、資金計画、TOC) | 資料7. 選定シート              |
| 資料2. 選定委員会設置要綱(案)                       | 資料8. 第2回選定委員会(面談審査)の進め方 |
| 資料3. 事務的書類チェックの補足説明                     | 資料9. 採点シート(案)           |
| 資料4. 実行団体向け公募要領                         |                         |
| 資料5. 実行団体の申請一覧(趣旨と合致)                   |                         |
| 資料6. 実行団体の申請一覧(趣旨と相違)                   |                         |

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 資料1. 資金分配団体計画書類<br>(事業計画、評価計画、資金計画、TOC) | 資料7. 選定シート              |
| 資料2. 選定委員会設置要綱(案)                       | 資料8. 第2回選定委員会(面談審査)の進め方 |
| 資料3. 事務的書類チェックの補足説明                     | 資料9. 採点シート(案)           |
| 資料4. 実行団体向け公募要領                         |                         |
| 資料5. 実行団体の申請一覧(趣旨と合致)                   |                         |
| 資料6. 実行団体の申請一覧(趣旨と相違)                   | ※一部は事前提供                |

### 4) 書類審査結果を通知、採択者には面談審査のご案内

### 3. 審査のプロセスについて

#### —④ 面談審査の方法

##### 1) 当日詳細スケジュールの調整

- ・プレゼン時間・質疑応答時間の調整、休憩時間の設定、控室と審査室を離す、等

##### 2) 審査方法の調整

- ・採点表の作成、採点の集計方法のプロセス確認、等

##### 3) 面談審査（第2回選定委員会）の実施／ プレゼンの実施タイムスケジュール管理の徹底

- ・プレゼン10分、質疑応答5分、審査時間（入れ替わり）5分の厳守
- ・公平性の観点から、追加資料は認めない、プロジェクター機器の使用も不可
- ・1団体あたり2名まで出席可能とする。
- ・JANPIAのPOも同席（発言は求めなかった）
- ・集計作業は審査終了後30分で実施

##### 4) 集計結果を踏まえた協議（第2回選定委員会）

##### 5) 採択通知の発送

# 審査集計表

## 北海道未来社会システム創造事業 採点シート<面談審査> 案

資料 9

採点者名	
------	--

ID	
----	--

【評価方法】よく合致している⇒2点、まあ合致している⇒1点、合致していない⇒0点

評価項目	評価の視点	申請書類の該当箇所	評価
ガバナンス・コンプライアンス	事業を適かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか	様式10 提出書類に関する誓約書 様式11 規程類に含める必須項目確認書	/ 2
事業の妥当性	①社会課題への着眼点  社会状況や課題の問題構造の把握が十分に行われているか	様式2 1.1 課題の背景とこれまでの取り組み 1.2 取り組みを行う中で明らかとなったニーズ・課題	/ 2
	②助成事業の趣旨への合致  資金分配団体が設定した課題に対して妥当であるか	様式2 2.1 中長期アウトカム 2.2 短期アウトカム	/ 2
実行可能性	①実施内容の妥当性  実施計画・内容は適切か	様式2 2.3 事業内容と事業ごとの目標(アウトプット)	/ 2
	②実施体制  業務実施体制は適切か	様式2 3.1 実施体制 3.2 役割	/ 2
	③予算設定の妥当性  業務実施における予算は適切か	様式3 資金計画書	/ 2
継続性	助成終了後の計画(出口戦略や工程等)が具体的かつ現実的か	様式2 4.1 助成期間が終了した後の計画	/ 2
先駆性(革新性)	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか	様式2 6.1 事業のアピール 6.2 事業の先進性・革新性 ※タイプ①上限1500万のみ	/ 2
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて課題の解決につながることが期待できるか	4.2 助成終了後における展開	/ 2
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階よから終了後までの体系的な対話が想定されているか	3.1 実施体制 3.3 連携する団体と役割 5 情報公開及び広報の方法	/ 2
		合計	/ 20

## 審查集計一覧表

■タイプI															
順位	発表順	面談時間	ID	団体名	実施地区	申請額(評価経費除く)(円)	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	小計	採点人数	平均点	書類審査順位
1	5	13時50分					40	35	42	40	42	199	5	39.80	1
1	8	14時50分					43	40	43	34	39	199	5	39.80	2
3	3	13時10分					41	37	32	37	39	186	5	37.20	3
3	9	15時10分					36	41	39	35	35	186	5	37.20	4
5	4	13時30分					38	30	42	28	31	169	5	33.80	6
6	1	12時30分					33	30	30	32	33	158	5	31.60	8
7	7	14時30分					30	26	36	29	36	157	5	31.40	5
8	2	12時50分					37	23		27	26	113	4	28.25	9
9	6	14時10分					32	23	29	22	28	134	5	26.80	7

■タイプII															
順位	発表順	面談時間	ID	団体名	実施地区	申請額(評価経費除く)(円)	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	小計	採点人数	平均点	書類審査順位
1	2	16時00分					43	39	42	42	32	198	5	39.60	1
2	3	16時20分					30	27	43	35	23	158	5	31.60	5
3	1	15時40分					37	22	39	22	24	144	5	28.80	3
4	4	16時40分					27	18	38	22	31	136	5	27.20	4
4	5	17時00分					22	27	44	19	24	136	5	27.20	2